



# 夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第42号 ~ 令和5年12月15日

## 安心して入学できるように



12日に来年度新1年生となるなないろこども園のぶどう組の園児達が来校し、5年生と遊んだり1年生とランチルームで給食を食べたりする体験を行いました。5年生とはドッジボールとこおり鬼をしました。5年生は来年度最上級生として新1年生と学校生活を共にします。自分たちがどんな学校を目指したいのか、そのために下級生とどのように関わる必要があるのかを考えなければなりません。特に新1年生とが安心して学校生活を送れるようにすることは大切なことです。子供たちは少しでも楽しく遊べるように、説明も分かりやすいようにと工夫していました。実際に始めるとボールを取っても自分たちは投げないでボールを渡す姿が見られるなど楽しく活動していました。遊んだ後、園児達はランチルームで1年生と一緒に給食を食べました。1年生の子供たちも園児が困らないようにとランチルームまで手を引いて連れて行きました。配膳を1年生が行い、ぶどう組の子の給食を取って来ていました。量を調節する時でも不安そうにしている子の手助けをする姿が見られました。1年生もしっかり成長しているなあと感じました。ぶどう組の皆さんが来年度安心して入学してくれることが楽しみです。

## いいとこみつけ



運営放送委員会が中心となって全校で「いいとこみつけ」に取り組んでいます。これは子どもたちがお互いのよいところを用紙に記入し、クリスマスツリーを印刷した紙に貼っていくものです。「おおなわのときにうまく自分から跳べていいね。」や「いつも児童館で遊んでくれてありがとう。また一緒に遊んでね。」「いつも大きい声であいさつをしてくれてありがとうございます。これからもあいさつがんばってね。」など相手のがんばっているところや自分がうれしかったことなど、いろいろと記入されていました。この「いいとこみつけ」は初めは同じなかよし班の子へ、次に決められた学年の子へ、最後は自由に書くというようにいろいろな子に書けるようにしています。子供たちは自分のことが書かれたカードを読んでうれしそうにしていました。「自分のよいところを挙げてください。」と言ってもなかなか出てこないことがあるのではないのでしょうか。「自分では気がつかなくても人はちゃんと見てくれる。」と実感することは学校生活への安心感にもつながっていくことでしょうか。また人を肯定的に見るということは相手だけでなく自分にもいいことがあるのだと思います。人の悪口を言ったらその言葉は耳から自分の中にも入ってきます。それは自分を傷つけることにもつながるでしょう。反対に人のよいところを言えばそれが自分に戻り、気持ちも穏やかになっていくことでしょうか。みんながお互いのよいところをたくさん見つけてくれることを願っています。



先日集めた募金は社会のために役立てていただけるよう、町社会福祉協議会の方に渡しました。ご協力ありがとうございました。

## 読み聞かせ

14日に読み聞かせがありました。

〈読まれた本〉 このよでいちばんはやいのは 木のまつり きょうりゅうのたまごにいちやん クリコ

